

Forest Good 2015～間伐・間伐材利用コンクール～応募申込書

「製品づくり・利用部門」

受付番号

ふりがな	しながわくしょうてんがいれんごうかい
氏名 (会社、団体名等)	品川区商店街連合会 (共同実施者 やまなし水源地ブランド推進協議会、NPO 法人木net やまなし、 株式会社イトーキ、株式会社 HUG)
住所	〒141-0033 東京都品川区西品川 1-28-3 中小企業センター4F TEL (03) 5498-5931 FAX (03) 5498 - 5933

施工名・製品名	商店街の間伐材活用事業 ふるさと協定から生まれた木製ベンチ BANCO (バンコ)
製品の開発・調達の目的及び背景	品川区商店街連合会では、国産間伐材有効活用事業(品川区環境課補助事業)の一環として、区民に「間伐材」に親んでもらうきっかけづくりを目的に、商店街の要望を踏まえ、毎年商店街への休憩用ベンチ設置をすすめています。このベンチの材料に、品川区のふるさと協定先である早川町にある「マウントはやかわ」で区民が伐採したスギ間伐材を活用しました。品川区と山梨県早川町は、平成2年4月から、ふるさと協定を結んでいます。「マウントしながわ」では、年に数回、区民が早川町にて里山再生活動などを体験する事業をおこなっており、ベンチにはこの間伐材の一部を利用しています。 ベンチの誕生には、早川町も参画する「やまなし水源地ブランド推進協議会」が協力しています。やまなし水源地ブランド推進協議会は、山梨県内の3町村を中心に、産官民で地域活性化を進める団体です。協議会メンバーである製品の企画をイトーキ、デザインをHUG、材の手配などを木net やまなしがネットワークでつなぎ、製作の最後の工程である塗装は、区民の参加型ワークショップを開催し、区民の手により仕上げられました。完成したベンチは、3つの商店街に置かれ、地域連携のシンボルとして、商店街や街の人々に大切に使われています。
製品・調達の特徴	「BANCO」とは、ラテン語で縁側の意味。素材には材料調達がしやすいスギの幅ハギ材を使っています。スギの自然な木目とあたたかな風合いを生かしたデザインです。組み立て式で、脚と座面をとりはずして収納できます。軽くて簡単に移動できます。脚部を共用して座面を連結することもでき、使う場面にあわせて組み替えることができます。
間伐材の樹種名	スギ
間伐材利用の状況・使用実績	品川区のふるさと協定先である早川町の「マウントしながわ」の森から、森林整備作業として区民が伐採した木材(スギ)の一部を利用しています。木net やまなしによる、材の製材、乾燥等行い、イトーキにより家具としての品質管理を行いました。
消費・購買の効果等	完成したベンチは商店街に設置されています。ベンチ設置のご要望は以前からあり、買い物時の休憩や、商店街の日常的なかで使われていて、とても好評です。また、BANCO が生まれるまでのストーリーを動画にわかりやすくまとめ、web サイトで配信しています。間伐材を使った BANCO を通じて、区と町の地域連携や交流がますます盛んになることが期待されます。 http://shoren.shinagawa.or.jp/about/activities/kanbatsuza/banco/tabid/240/Default.aspx#paint
製品写真	  <p>組み立て式の木製ベンチ BANCO</p> <p>地元の親子が集まったペイントワークショップ</p>

※このままパネルに加工し展示しますので、1枚におさめて下さい。

※製品の写真・パンフレット・紹介記事等審査の参考となる資料をできるだけ多く添付して下さい。

※今回の応募内容について、過去5年以内に各種コンテスト・コンクール等で入賞した実績がある場合には別紙を必ず提出して下さい。

表彰実績の報告シート

コンテスト等の名称	表彰年月日	表彰内容（〇〇大臣賞、優秀賞等）
なし		